

申込み日時	ご質問、ご意見の内容	お問合せ内容	回答担当課等	回答
2022/11/6	部活動に関すること	<p>中学生の部活動についてお願いがあります。 部活動の数を増やすもしくは、人数が足りないと思われる部活動については人数が安定してくるまで学園の森と合同で活動するという措置をとっていただけないでしょうか。 春日学園から学園の森に分かれた当初は、野球部は春日学園と合同で活動していたと思います。今回も、人数が足りない部活は同様の対応して頂けないでしょうか？ 規模も小さくなり先生方の人数も足りないのは重々承知していますが、もう少し子供達の思いも受け入れてあげてほしいです。</p> <p>報告内容では、今回決められた部活動は現在の在籍生が所属する部活動から決定したと解釈しました。 新一年生の意向は考慮されないのでしょうか？</p> <p>新一年生は今年の夏休みに部活体験、11月より仮入部が始まっており、子供達はすでに新しい活動に進み始めています。 そのような中、いざ新設学校にうつったらその希望している部活動がないというのはひどくないでしょうか。</p> <p>部活動体験や仮入部決定の前に、新設校の情報をいただけたら子供達はまだ納得できたかもしれません。希望する部活動に入れるかもと期待をもち仮入部の活動をしているのに4月からはその部はないという状況はとでも可哀想です。</p> <p>新一年生の希望も聞いていただき、人数が少ない場合は、ぜひ合同で活動できるようにしていただきたいです。 よろしくお祈りします。</p>	学園の森義務教育学校	<p>(1)新設校の教職員数 部活動の数を多く設定できないのは、研究学園中学校の教職員数が少なくなることが想定されるからです。学級数に応じて配置される教職員の数は、法律で定められています。顧問となる教職員数が十分でない状況により、できるだけ数を増やしたいという思いはありますが、部活動の数は必然的に制限されます。</p> <p>(2)部の活動形態について 開校初年度に設定する部活動については、個人戦や少人数での大会参加、あるいは個人での活動も可能な部となっています。ただし、状況により他校との合同での練習(活動)も必要となるかもしれません。その場合は、できるだけ生徒の思いを大切に活動となるよう善処したいと考えています。 なお、研究学園中学校入学後、設定予定のない部活動(野球部、サッカー部、バスケットボール部、剣道部等)を希望されましても、他校(学園の森義務教育学校等)との合同での活動は難しい状況です。研究学園中学校の教職員数が少なくなることが想定されるため、引率業務等ができず、生徒の安全を確保できないことがその理由となります。</p> <p>(3)部活動の選定に関して 6年生(新7年生)の希望も確認したいところではありますが、受験により他の中学校進学を希望する児童がいるため、入学試験が終わっていない現時点では研究学園中学校の新入生の数が確定できません。そのため、確かな情報である現在の7年生・8年生の部員数を選定の判断材料として検討することとしました。 最善を求めて議論に時間を費やしてまいりましたが、結果それが叶わず、かつ、公表が11月となってしまいご迷惑をおかけすることになってしまいました。仮入部の通知文内にも、研究学園中学校での部活が未定である旨が記載されておりましたが、それでも納得できないというお気持ちも十分理解できます。ただ今回の選定に関しては、諸条件を鑑み、熟考を重ねた結果であることもご理解いただければと思います。</p> <p>開校時の部員数(新7年生も含む)によっては、すべての部活動が年度当初から活動できるとは限りません。また、開校1年目の令和5年度につきましては、報告資料に提示のない部活動の設定は今のところ予定しておりません。ただし、開校2年目以降については学級数の増加等諸条件が整い次第、新たな部活動の設定も検討していく必要があると考えています。</p>
2022/11/5	PTAに関すること	<p>地区委員についてはどのようになりますでしょうか？ 地区委員はPTAの会員となりますでしょうか？ そもそも現在も学校からもモバイルデバイスを通じた連絡体制が整備されているなか、地区委員は不要と思いますが、如何でしょうか？ 地域によっては、仕事や家庭の事情よりも地区の活動を優先すべきとの誤った考えが広まっており、学校やPTAが意図しないことになっています。方針を市民全体に具体的に明示しなければ、誤った理解のもと同調傾向が強くなり、地域の関係悪化、引いては世帯への差別意識や子どものいじめ問題に発展しかねません。地区委員を設けるとしても、方針や役割、体制、指示系統を子どもにも判りやすく具体的に明示して頂けませんでしょうか？ 非正規雇用の増加、所得の低迷など、家庭は子どものためにも家計を守るのが最優先です。そうでなくても、企業では、子育て世代を敬遠する傾向があり、これが少子化の一因になっているとも言われます。たかが地区委員ではなく、学校にも家庭にも無理のないよう、皆が安心して子どもを産み、育てていける環境に少しずつでも改善していかなければならないと考えますが、如何でしょうか？ どうぞ宜しくお願い致します。</p>	学務課	<p>現在、保護者代表、学校関係者を委員とした開校準備委員会を組織し、学校名、制服、体操服などについて、協議していますが、その中でPTA組織や保護者支援組織についても協議しています。また、開催後には、会議録を作成し、ホームページにて公表しておりますので、PTA組織や保護者支援組織についても随時、ホームページにて公表していきます。今回のご意見については、各委員と情報共有させていただきます。</p>
2022/11/5	PTAに関すること	<p>PTAはどのようになりますでしょうか？ PTAの活動はとても重要であり、子ども達の成長にとっても有意義なものです。 一方で、半ば強制とも言われるオプトアウトの会員方式は改善しなければなりません。PTAへの入会も契約行為ですので、子ども達にも身近なPTAを通じて契約というものをしっかりと教える必要があります。 PTAは会費と労働を伴う契約です。入会の申請手続きもなく、入学とともに会員とするのは強制労働にもなりかねません。 子ども達のためのPTAであればこそ、市民の不利益より組織の利益を優先することがあってはなりません。たとえ会費収入や人手不足となってもです。 PTAの会員を増やすのは別の課題です。もしその課題解決を入会方式と混同するような議論があるとすれば、論点整理が必要です。つくば市は論理的な議論ができる方が多いので、もし委員会などで論点整理が難しいようであれば、市民にサポートしてもらうのも良いと存じます。 世界では権威主義的な考えが拡大している感がありますが、子ども達を見守るPTAこそは、やれる人がやりたいことを自ら進んでやり、皆から尊敬される存在であり、できない人に同調や強制を求めない、といった当たり前のことですが、そのような民主的で魅力的な組織になることを願っています。 どうぞ宜しくお願い致します。</p>	学務課	<p>現在、保護者代表、学校関係者を委員とした開校準備委員会を組織し、学校名、制服、体操服などについて、協議していますが、その中でPTA組織や保護者支援組織についても協議しています。また、開催後には、会議録を作成し、ホームページにて公表しておりますので、PTA組織や保護者支援組織についても随時、ホームページにて公表していきます。今回のご意見については、各委員と情報共有させていただきます。</p>
2022/11/2	部活動に関すること	<p>部活動の種類が少ないと思います。 サッカー、野球、バスケットボール等、主要なスポーツの部活動を入れるべきだと思います。</p>	学園の森義務教育学校	<p>部活動の数を多く設定できないのは、研究学園中学校の教職員数が少なくなることが想定されるからです。学級数に応じて配置される教職員の数は、法律で定められています。顧問となる教職員数が十分でない状況により、できるだけ数を増やしたいという思いはありますが、部活動の数も必然的に制限されます。運動部だけでなく文化部も含め生徒の選択肢を多くしたいところですが、開校初年度の学級数の予想からはかなり難しい状況です。今回の部活動の設定につきましては、現時点での確実な情報である7年生・8年生の部員数と、予想される教職員数(顧問数)などを考慮して総合的に判断いたしました。 開校1年目の令和5年度につきましては、報告資料に提示のない部活動の設定は今のところ予定しておりません。開校2年目以降については学級数の増加等諸条件が整い次第、新たな部活動の設定も検討していく必要があると考えています。</p>

申込み日時	ご質問、ご意見の内容	お問合せ内容	回答担当課等	回答
2022/11/18	部活動に関すること	<p>部活動の種類が少ないことがとても気に入りしました。</p> <p>分離後の人数が少ないという理由で子供たちの部活動のチャンスを奪うことになるのは反対です。もともとの過疎地域で、というならば仕方ないことと理解致します。ですがこのケースは全く違います。</p> <p>学森であれば普通に経験できたことが、市の都合で勝手に学区を分断され、我が家は新設校区域になり、子供達が経験できる部活動の種類までも少なくなってしまうました。どうか、野球・サッカー・陸上・バスケ・剣道など、せめて普通のつくば市の一般的な中学校あるような部活動に関しては、学森部活動に共同で参加させて頂くなど、検討はできませんでしょうか。</p> <p>つくば市が、部活動を地域に移行していこうとしていることは承知していますが、学森ではまだ行われていません。移行が始まるまでは是非とも子供たちに機会を平等に与えて欲しいと思います。</p>	学園の森義務教育学校	<p>部活動の数を多く設定できないのは、研究学園中学校の教職員数が少なくなることが想定されるからです。学級数に応じて配置される教職員の数は、法律で定められています。顧問となる教職員数が十分でない状況により、できるだけ数を増やしたいという思いはありますが、部活動の数も必然的に制限されます。運動部だけでなく文化部も含め生徒の選択肢を多くしたいところですが、開校初年度の学級数の予想からはかなり難しい状況です。今回の部活動の設定につきましては、現時点での確実な情報である7年生・8年生の部員数と、予想される教職員数(顧問数)などを考慮して総合的に判断いたしました。</p> <p>他校との合同での活動に関しましては、その都度引率する教員を確保しなければならず、想定では職員数が少なくなるため顧問をつけることが現実的には難しい状況です。</p> <p>平等な機会の確保のために学び推進課とも協議してまいりましたが、ご意向に添う結果とならず我々も残念でなりません。開校2年目以降につきましては、学級数の増加等諸条件が整い次第、新たな部活動の設定も検討していける必要があると考えています。</p>
2022/11/22	通学方法、通学路に関すること	<p>通学方法について、集団登校を安全と考える方もいれば、逆に危険と考える方もいます。よって、何らかの組織等によって、集団登下校を必須とすべきではありません。</p> <p>学校が必要以上に児童を管理することなく、学校の責任範囲を明確にすべきと考えます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市教育委員会及び学校は通学路の安全性を管理する</li> <li>・学校が児童の登下校を管理するのは敷地内までとする</li> <li>・学校の敷地外での責任はあくまで保護者にある</li> <li>・希望する保護者は校門までは児童への付き添いは可とする</li> </ul> <p>交差点での旗振りについても、賛成の方もいれば、反対の方もいます。よって、何らかの組織等によって、旗振りを強制すべきではありません。</p> <p>ある地域では「旗振りが嫌なら私立に行け」という発言まであったそうです。異なる価値観を排除する危うい思想です。</p> <p>学校もPTAも個人にとって権力となりかねません。子どもに対する責任は当然保護者にあります。保護者と児童を信じて、その自主性に任せることが肝要です。</p> <p>日本は多様性への意識の低さに関して、世界から厳しい評価をされています。これからの担う子ども達にはもっと大きな世界を見てほしいものです。研究学園都市ならではのこそ、自主性、多様性を尊重した教育環境であってほしいと願っています。</p>	学園の森義務教育学校	<p>現在、保護者代表、学校関係者を委員とした開校準備委員会を組織し、これまで学校名、制服、体操服などについて協議してまいりました。現在は、PTA組織や保護者支援組織、通学等についても協議しております。</p> <p>令和5年度につきましては、開校時の混乱を避けるため、学園の森義務教育学校と同じ体制をとることを開校準備委員会でも検討させていただき、決定いたしました。ただし、集団登下校の在り方につきましては、開校後も継続して検討していきたいと考えております。</p> <p>なお、開校準備委員会開催後には、会議録を作成し、ホームページにて公表しております。PTA組織や保護者支援組織、通学等につきましても随時、ホームページにて公表していきます。今回のご意見については、各委員と情報共有させていただきます。</p>
2022/12/3	部活動に関すること	<p>部活動について、学園の森義務教育学校の加入状況を元に予定しているようですが、その決め方には疑問があります。</p> <p>部活動とは、子どもの発達を考慮し、科学的知見も参考に判断されるべきものです。例えば、体育系において、バドミントン、テニス、卓球とするのは明らかに偏りが生じています。球技として、加入状況を元にひとつの種目を採用し、それ以外は球技とは異なる陸上や武道(剣道等)を採用するなど、まずは方針を決めるべきです。方針の決定においては、保護者や生徒に意見照会を行うことがより望ましいです。</p> <p>また、在校生数から実施できる部活動も制限されることから、子どもの成長のために、部活動においては、学園の森義務教育学校との共同活動を試行することを強く希望いたします。</p> <p>どうぞ宜しくお願い致します。</p>	学園の森義務教育学校	<p>生徒や保護者の方の希望に沿う形で、研究学園中学校の部活動が設定されることが望ましいというご意見をいただき、大変ありがたく感じます。研究学園中学校の部活動に関しまして、学園の森と同じ種類と数を設定することを目標に、学び推進課とこれまで協議してまいりました。</p> <p>選定する上での基準や考え方は、様々なニーズがあるので、どの選定方法をとるにしても非常に難しい問題となります。春日学園義務教育学校から分離した学園の森義務教育学校とは、残念ながら状況が大きく異なります。1つの学校である義務教育学校ではその分教職員数が多く、小学校と中学校の交流は行いやすくなります。令和5年度開校する新設校はそれぞれ独立した学校であり、中学校の学級数もかなり少ないということなどが研究学園中学校の置かれた状況です。苦渋の判断であることどうぞご理解いただけますようお願いいたします。</p> <p>なお、他校との合同での活動に関しましては、その都度引率する教員を確保しなければならず、想定では職員数が少なくなるため顧問をつけることが現実的には難しい状況です。</p>
2022/12/15	部活動に関すること	<p>HPで一部の回答を拝見しましたが、できない理由を述べるばかりで、読んでいてとても嫌な気持ちになりました。新中学1年生があまりにも可哀想です。</p> <p>教師の人数が足りないなら、そこは専門の方を依頼したら良いのでは。全てを教師にさせようとするから、教師の働き方が問題となっているわけですね。外部に(学校専門的な方)依頼する。新しいやり方を試みるとか、子ども達の為にどうかできる方法を考えてみて頂けないでしょうか。どうか子どもの気持ちを大切に考えてあげてください。</p>	学園の森義務教育学校	<p>ご指摘の通り、実現が難しい旨の回答ばかりとなり、申し訳ございません。</p> <p>開校時の部員数(新7年生も含む)によっては、すべての部活動が年度当初から活動できるとは限りません。また、開校1年目の令和5年度につきましては、報告資料に提示のない部活動の設定は今のところ予定しておりません。ただし、開校2年目以降については学級数の増加等諸条件が整い次第、新たな部活動の設定も検討していく必要があると考えています。</p> <p>外部人材等の活用なども含め、いくつか模索すべき事項があることは承知しております。そのためには、中学生の発達段階に対応した技術力・生徒指導力を有する人材の確保や金銭的補償など、学校だけでは対応することが難しい点がございます。具体的には、研究学園中学校が開校する令和5年度の研究学園中学校の生徒の希望なども踏まえながら、令和6年度以降の部活動数の増加や、部活動の外部委託などについて検討を進めてまいりたいと思います。</p>
2022/12/15	授業に関すること	<p>教師の人数が少なくなりますが、教科担任制は成り立つのでしょうか。また授業への影響もありませんでしょうか。(設備など)</p>	学園の森義務教育学校 学び推進課	<p>研究学園中学校は、他の中学校と同様、教科担任制となります。</p> <p>研究学園小学校に関して、研究学園小学校と学園の森義務教育学校前期課程を比較しますと、児童数や学級数が少なくなるため、教職員の数も少なくなります。しかし、市内の他の小学校と同等の規模であり、特定の教科による教科担任制は実施できる状況です。</p> <p>さらに、施設併設型小中一貫教育校であるため、研究学園中学校の教員が、研究学園小学校での授業も担当できる環境は整っていますので、より教科担任制の充実が図れることとなります。</p> <p>教材、備品などの設備につきましては、新年度からの学習に支障がないように準備しているところです。</p>

申込み日時	ご質問、ご意見の内容	お問合せ内容	回答担当課等	回答
2022/12/20	部活動に関すること	<p>部活動の設置についてお願いします。</p> <p>先日公開された質問への回答の中で、「確かな情報である現在の7年生・8年生の部員数を選定の判断材料として検討することとしました」「現時点での確実な情報である7年生・8年生の部員数と、予想される教職員数(顧問数)などを考慮して総合的に判断いたしました。」</p> <p>とありますが、現7、8年生は指定学校変更が可能で学森に残る生徒もいますので、確実な情報とは言えず実態が反映されていないのではないのでしょうか。</p> <p>さらに、現7、8年生は部活を継続したい場合には学校変更によって学園の森にすることができますので、むしろ変更が認められていない現6年(新中1)の希望を聞くのが大切ではないのでしょうか。</p> <p>改めて、新2、3年生の通学届と新1年生の受験結果が見えてきた今の段階で、再度希望を確認して設置する部活動の種類を検討いただけますよう、どうかお願いいたします。</p> <p>また、野球部、サッカー一部、バスケットボール部、剣道部等については、学園の森との合同活動は不可とのことでしたが、引率する教職員の方の数不足がネックであれば、外部委託を活用する方法もあります。部活動改革が推奨されている折、ぜひこの動きも活用して柔軟な策を考えていただきたいです。</p> <p>どうかお願い致します。</p>	学園の森義務教育学校	<p>ご意見ありがとうございます。確かに、現時点では指定学校変更を考えている生徒や保護者の方が少なからずいらっしゃるかと思います。しかしながら、研究学園中学校の部活動を選定する時点では、指定学校を変更する生徒数などがはっきりしないことから、当然考慮できるものではないと判断いたしました。指定学校変更するの可否か、受験し他の中学校に進学するの可否かなど、不確定要素を除くことで選定を進めさせていただきました。</p> <p>また、今後再度希望を確認して検討し直すこととなりますと、多くの方々に影響が出てまいります。胸中お察しいたしますが、令和5年度につきましては、中間報告会で提示させていただきました部活動で進めさせていただきます。</p> <p>なお、他校との合同での活動については、研究学園中学校に該当の部活動があることが前提となります。開校2年目以降については、学級数の増加等諸条件が整い次第、新たな部活動の設定や合同練習等の検討もしていきたいと考えています。</p> <p>外部委託を活用する件につきましては、業者との折衝や人材の確保、金銭的補償など、学校だけで対応することが難しい点もございます。つくば市でも実証が始まりました部活動の一部民間委託なども今後検討すべきものであるという認識しております。部活動改革が今後益々進んでいくものと予想されますので、次年度以降研究学園中学校に入学・進学した生徒の希望なども踏まえながら検討を進めていきたいと考えております。</p>